

令和4年度事業実施状況及び効果検証

(円)

No	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費	交付金充当	国・道補助金 充当	一般財源充当	事業開始 年月日	事業完了 年月日	効果検証
1	小・中学校用電子黒板等購入事業	①電子黒板及び書画カメラ、指導者用デジタル教科書を購入し、感染症による欠席時においても、児童生徒が町の配付したタブレット端末を用いて授業に遠隔で参加できる「学びを止めない環境」を整備する。 ②電子黒板及び書画カメラ、指導者用デジタル教科書の購入に係る経費 ③小学校及び中学校	8,751,160	8,751,160	0	0	R4.4.19	R4.8.17	小学校及び中学校に電子黒板及び書画カメラ、指導者用デジタル教科書を購入したことで、感染症による欠席時においても、児童生徒が町の配付したタブレット端末を用いて授業に遠隔で参加できる「学びを止めない環境」を整備することができた。
2	町税コンビニ収納事業	①感染症防止の観点から、人と人との接触機会を減らすため、町税等の支払場所を分散するとともに、納税者の利便性の向上を図ることを目的に、コンビニエンスストアでの納付が可能となるようシステム改修を行う。 ②システム改修に係る経費 ③鹿部町	2,687,300	2,687,300	0	0	R4.7.5	R5.3.31	コンビニエンスストアでの納付が可能となるようシステム改修を行ったことで、町税等の支払場所を分散することができ、人と人との接触機会を減らすことができた。また、納税者の利便性の向上を図ることができた。
3	しかべ応援券配布事業	①町民に対し応援券を配付することにより、感染症の影響を受けている町民の負担の軽減と地域消費の拡大による地域経済の活性化を図るため、全町民に対し、15,000円分の応援券（商品券）を交付する。 ②応援券発行及び事業執行に係る経費 ③町民	58,253,846	58,253,846	0	0	R4.5.31	R5.3.1	全町民に応援券を配付したことで、感染症の影響を受けている町民の負担の軽減と地域消費の拡大による地域経済の活性化を図ることができた。
4	救急隊員感染症防止強化事業	①感染症患者や疑いのある患者の搬送に対応するため、酸素飽和度測定機能等を有した半自動除細動器を導入し、救急活動の充実と強化並びに救急隊員の感染リスクの軽減を図る。 ②半自動除細動器の購入に係る経費 ③鹿部消防署	3,641,000	3,641,000	0	0	R4.9.14	R4.10.31	感染症患者や疑いのある患者の搬送に対応するため、酸素飽和度測定機能等を有した半自動除細動器を導入したことで、救急活動の充実と強化並びに救急隊員の感染リスクの軽減を図ることができた。

5	公共施設との情報通信体制整備事業	①次世代型ミーティングボードを購入し、WEB会議システムによる常時情報通信体制を構築することで、人と人との接触を減らし、密回避による新型コロナウイルス感染症防止を図る。 ②次世代型ミーティングボードの購入に係る経費 ③中央公民館	1,428,680	1,428,680	0	0	R4.9.16	R5.1.16	次世代型ミーティングボードを購入し、WEB会議システムによる常時情報通信体制を構築したことで、人と人との接触を減り、密回避による新型コロナウイルス感染症防止を図ることができた。
6	公共施設利用予約システム導入事業	①窓口業務の電子化の一環として、公共施設利用予約システムを導入し、併せて、中央公民館及び総合体育館の行事予定や貸館状況等をデジタル掲示できるよう機器を整備することで、人と人との接触を減らし、密回避による新型コロナウイルス感染症防止を図る。 ②公共施設利用予約システムの導入及びデジタル掲示用機器の購入に係る経費 ③中央公民館及び総合体育館	3,460,600	3,460,600	0	0	R4.10.15	R5.3.31	公共施設利用予約システムを導入し、併せて、中央公民館及び総合体育館の行事予定や貸館状況等をデジタル掲示できるよう機器を整備したことで、人と人との接触を減らし、密回避による新型コロナウイルス感染症防止を図ることができた。
7	職員用タブレットパソコン購入事業	①職員のテレワークの推進と職員間または関係機関との情報・データ共有ツール、チャットツールやオンライン会議ソフト（アプリ）を活用し、対面せずにデータファイルの共有やウェブ会議による打合せ等を行うことを目的に、管理職を除く各課正職員の2名当たり1台のタブレットパソコンを追加購入し、密回避による感染症防止を図る。 ②タブレットパソコンの購入に係る経費 ③鹿部町職員	5,192,000	5,192,000	0	0	R4.9.16	R5.1.16	管理職を除く各課正職員の2名当たり1台のタブレットパソコンを追加購入したことで、対面せずにデータファイルの共有やウェブ会議による打合せ等を行うことが可能となり、密回避による感染症防止を図ることができた。
8	水道料金減免事業	①コロナ禍において、原油価格や物価の高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担を軽減するため、全世帯及び事業者の11月請求分から3月請求分までの5か月分の水道基本料金とメーター使用料の減免を実施する。 ②水道基本料金及びメーター使用料の減免に係る経費、事務的経費（水道事業会計へ繰出し） ③町民及び事業者（公共施設を除く）	22,339,720	22,339,720	0	0	R4.9.15	R5.3.31	生活者及び事業者の5か月分の水道基本料金とメーター使用料の減免を実施したことで、生活者及び事業者の負担を軽減することができた。
9	高齢者世帯等地域生活支援事業	①コロナ禍における令和4年度住民税非課税の高齢者世帯及び障がい者世帯の物価高騰による影響緩和を図るため、1世帯あたり12,000円を給付する。 ②高齢者世帯等地域生活支援金にかかる経費 ③高齢者世帯等	6,020,688	3,080,688	2,940,000	0	R4.10.5	R5.3.1	令和4年度住民税非課税の高齢者世帯及び障がい者世帯1世帯あたり12,000円を給付したことで、物価高騰による影響緩和を図ることができた。

10	交通事業者支援事業	①コロナ禍における原油価格高騰により、依然として厳しい経営状況にある鹿部・函館間（七飯経由）のバスを運行している交通事業者に対し、地域間交通の継続に資するため、支援金を給付する。 ②交通事業者への支援金に係る経費 ③交通事業者	609,000	609,000	0	0	R4.9.15	R4.10.7	鹿部・函館間（七飯経由）のバスを運行している交通事業者に対し、支援金を給付したことで、地域間交通の継続に資することができた。
11	しかべ応援券追加配布事業	①コロナ禍において物価高騰等に直面する町民に対し、1世帯15,000円分の応援券（商品券）を配付することにより、町民の負担の軽減と地域消費の拡大による地域経済の活性化を図る。 ②応援券発行及び事業執行に係る経費 ③町民	29,410,304	24,587,000	0	4,823,304	R4.10.19	R5.3.31	全町民に応援券を追加配付したことで、感染症の影響を受けている町民の負担の軽減と地域消費の拡大による地域経済の活性化を図ることができた。
12	疾病予防対策事業費等補助金	①コロナ禍において、風しん抗体検査事業を推進することにより、感染症により、感染症の発生予防・まん延防止・治療対策の推進に加え、新型コロナウイルス感染症との併発防止を図る。 ②風しん抗体検査事業に係る経費 ③昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性	624,000	20,000	311,000	293,000	R4.4.28	R5.3.31	風しん抗体検査事業を推進することにより、感染症の発生予防・まん延防止・治療対策の推進に加え、新型コロナウイルス感染症との併発防止を図ることができた。
13	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	①2050年までの脱炭素社会実現に向けて、地域における再生可能エネルギーポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを踏まえた導入目標を策定し、コロナ禍及びコロナ後の新しい社会における地域経済活性化を図るとともに、さまざまな地域課題の解決を目指す。 ②再生可能エネルギー導入目標策定に係る経費 ③委託事業者	9,988,000	1,998,000	7,491,000	499,000	R4.9.16	R5.2.28	2050年までの脱炭素社会実現に向けて、地域における再生可能エネルギーポテンシャルや将来のエネルギー消費量などを踏まえた導入目標を策定したことにより、コロナ禍及びコロナ後の新しい社会における地域経済活性化を目指す目標ができた。
合計			152,406,298	136,048,994	10,742,000	5,615,304			